

公開されているデータを使用した。

2) 疾患毎の年次推移

I) 平成 15 年度～17 年度に関し、登録が多い上位 20 疾患について、男女比、年齢、新規・継続数を集計した。

II) 疾患毎の都道府県別登録状況に差違や変遷があるかどうか明らかにするため、上位 20 疾患の中で、成長ホルモン分泌不全性低身長症を除いた、頻度の多い疾患である、甲状腺疾患（先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）、甲状腺機能低下症（E03.9）、慢性甲状腺炎（E06.3）、甲状腺機能亢進症（E05.0））、副腎疾患（先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）、21 水酸化酵素欠損症（E25.0A）、先天性副腎リポイド過形成（E25.0B））、思春期早発症（E22.8）、中枢性思春期早発症（E22.8A）、ターナー症候群（Q96）およびプラダー・ヴィルリ症候群（Q87.1A）について、方法 1 と同様に解析した。

III) 上位 20 疾患の中で、昨年度解析を行わなかった、下垂体機能低下（不全）症（E23.0A）、特発性副甲状腺機能低下症（E20.0）、仮性副甲状腺機能低下症（E20.1）、周期性 ACTH 症候群（E24.9B）、下垂体性（真性）尿崩症（E23.2）、腎性尿崩症（抗利尿ホルモン不応症）（N25.1）、原発性性腺機能低下症（男）（E29.1）および原発性性腺機能低下症（女）（E28.3）について、平成 10 年度からの男女比、年齢、新規・継続数を集計し、また、年齢別に登録患者を集計した。さらに、新規登録患者については、発症時年齢分布も集計し、発症後、どのくらいの期間をにおいて登録されているかを検討した。

C. 研究結果

1) 都道府県別登録患者数の年次推移（表 1-1）

解析に用いたデータにおいて、未提出自治体（都道府県、政令指定都市や中核市）がいくつ存在するかは不明である。平成 17 年度は、登録合計人数が少なくなっている。平成 11 年～16 年度にかけては、登録合計人数は 30,000 人前後でほぼ一定しているが、自治体によっては患者数増減の大きいものがある。

都道府県別の登録患者数をその 20 歳未満人口における割合（対人口比＝登録数／20 歳未満人口×10⁻³）

の過去 5 年間の推移を表 1-2 に示す。対人口比において、極端な過多は認められなかった。全国平均の +1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、岡山県、広島県および沖縄県であり、-1.5SD 未満が続いているのは、茨城県であった。

2) 疾患毎の年次推移

I) 登録が多い上位 20 疾患（表 2）

平成 15 年度から平成 17 年度について、登録が多い上位 20 疾患を表 2 に示した。平成 17 年度より登録区分に再開が加えられている。これらの 20 疾患は平成 10 年度（平成 14 年度報告書に資料を収載）から平成 16 年度にかけては大きな変動はない。特に上位 8 疾患は順位が同じであり、11 位までは順位の変動はあるが疾患構成は同じであった。また、12 位以下の疾患の内分泌疾患に占める割合は、それぞれ 1% 未満であった。上位 20 位で内分泌疾患群患者のほぼ 95% を占めている。

平成 17 年度について、以前と異なる患者数を示したものは、以下の 9 疾患であり、これらは 3 群に分類され得た。

1 つ目の群は、甲状腺疾患である。先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）の登録患者数は、以前と変わらず 2 位であったが患者数は増加した。それに対し、甲状腺機能低下症（E03.9）が 5 位から 15 位に低下した。また、単純甲状腺腫（E04.0）は、14 位から 33 位に低下した。また、平成 16 年度まで 18 位であった甲状腺腫（D34）は小慢疾患から削除された。

2 つ目の群は、先天性副腎皮質酵素欠損に分類されるものである。順位が上がった疾患は 21 水酸化酵素欠損症（E25.0A）（20 位→8 位）、先天性副腎リポイド過形成（E25.0B）（39 位→12 位）であり、順位が下がった疾患は、先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）（8 位→19 位）であった。

3 つ目の群は、以前は登録病名がなかったものに関する群であり、中枢性思春期早発症（E22.8A）（7 位）、汎下垂体機能低下症（E23.0A）（14 位）が該当する。思春期早発症（E22.8）は 4 位のままではあるが、患者数は半数に減少した。下垂体機能低下（不全）症（E23.0A）は 10 位から 11 位へ下がったもの

の、患者数は、汎下垂体機能低下症（E23.0A）が増えた分に見合うほどの減少はなかった。

II) 上位疾患の都道府県別登録状況の推移

II-A) 先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）（表II-A-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、多くの自治体で患者数が増加した。減少しているものに関しては、未提出である可能性は否定できない。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、新潟県、佐賀県、鹿児島県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-B) 甲状腺機能低下症（E03.9）（表II-B-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、患者数の増加した自治体はなかった。対人口比において、島根県と愛媛県は平成 16 年度までは、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いていたが、平成 17 年度の登録数とともに 0 であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-C) 慢性甲状腺炎（E06.3）（表II-C-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、全国合計登録数は減少したものの、都道府県別で見ると増加している自治体も 3 割程度あった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、北海道および高知県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-D) 甲状腺機能亢進症（E05.0）（表II-D-1 および 2）

登録患者数の推移に一定の傾向は認められなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、佐賀県、宮崎県、鹿児島県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-E) 先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）（表II-E-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、患者数の増加した自治体はなかく、さらにほとんどの自治体で登録数が 0 となった。対人口比において、平成 16 年度まで、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いていたの

は、高知県であったが 17 年度には 0 となった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-F) 21 水酸化酵素欠損症（E25.0A）（表II-F-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、多くの自治体で患者数が増加した。対人口比において、平成 16 年度まで、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いていたのは、北海道であったが、17 年度には低下した。これは、他の自治体の登録者数が少ないための相対的な増加であった可能性がある。

II-G) 先天性副腎リポイド過形成（E25.0B）（表II-G-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、多くの自治体で患者数が増加した。対人口比において、平成 16 年度まで、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いていたのは、香川県であったが、17 年度には低下した。これは、他の自治体の登録者数が少ないための相対的な増加であった可能性がある。

II-H) 思春期早発症（E22.8）（表II-H-1 および 2）

平成 16 年度から 17 年度にかけて、多くの自治体で患者数が低下した。しかし、対照的に増加の見られた自治体もあった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、山梨県、広島県、沖縄県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-I) 中枢性思春期早発症（E22.8A）（表II-I-1 および 2）

平成 17 年度から登録病名となった疾患である。思春期早発症（E22.8）における、対人口比の多い 3 県の中で、沖縄県は同様に全国平均の+1.5SD 以上（赤色）であった。

II-J) ターナー（Turner）症候群（Q96）（表II-J-1 および 2）

登録患者数の推移に一定の傾向は認められなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、山梨県および滋賀県であった。一方、-1.5SD 未満が続いている自治体はなかった。

II-K) プラダー・ウィルリ（Prader-Willi）症候群（Q87.1A）（表II-K-1 および 2）

登録患者数の推移に一定の傾向は認められなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD以上（赤色）が続いているのは、秋田県、静岡県および香川県であった。一方、-1.5SD未満が続いている自治体はなかった。

Ⅲ) 下位疾患の年次推移

Ⅲ-1) 下垂体機能低下（不全）症（E23.0A）（表Ⅲ-1、図Ⅲ-1）

平成10年から、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。新規登録患者の年齢は広く分布しており、その発症年齢は0歳の大きなピークと学童後期に小さなピークがあった。

Ⅲ-2) 特発性副甲状腺機能低下症（E20.0）（表Ⅲ-2、図Ⅲ-2）

平成10年から、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。新規登録患者の年齢は広く分布していた。

Ⅲ-3) 仮性副甲状腺機能低下症（E20.1）（表Ⅲ-3、図Ⅲ-3）

平成10年から、患者数、男女比に大きな違いはなかったが、内分泌疾患に占める割合が増加傾向であった。新規登録患者の年齢は広く分布していた。

Ⅲ-4) 周期性ACTH症候群（E24.9B）（表Ⅲ-4、図Ⅲ-4）

平成10年から、患者数、男女比に大きな違いはなかったが、平成17年度に内分泌疾患に占める割合が低下した。登録患者の男女の分布において、男児ではピークが7～8歳、12～13歳に認められた。一方、女児ではピークがそれらより1～2歳遅れていた。

Ⅲ-5) 下垂体性（真性）尿崩症（E23.2）（表Ⅲ-5、図Ⅲ-5）

平成10年から、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。登録患者の年齢は広く分布していた。

Ⅲ-6) 腎性尿崩症（E23.2）（表Ⅲ-6、図Ⅲ-6）

平成10年から、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。

Ⅲ-7) 原発性性腺機能低下症（男）（E29.1）（表Ⅲ-7、図Ⅲ-7）

平成10年から16年度にかけては、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。しかし、平成17年度においては、患者数、および内分泌疾患に占める割合が減少した。登録患者の年齢分布は、3～5歳と13～18歳の二峰性を示した。

Ⅲ-8) 原発性性腺機能低下症（女）（E28.3）（表Ⅲ-8、図Ⅲ-8）

平成10年から、患者数、男女比、内分泌疾患に占める割合に大きな違いはなかった。登録患者の分布は、12歳以降19歳まで増加していた。

D. 考察

小慢事業が法制化された、平成17年度を加えた、縦断的なデータの解析を行うことで、いくつかの登録状況の変化を見いだすことができた。

第一に、甲状腺疾患、副腎疾患において正確な病名で登録されるようになっていたことが考えられた。すなわち、甲状腺疾患においては、甲状腺機能低下症（E03.9）の登録数が減少し、先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）が増加した。副腎疾患においては、先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）の登録数が減少し、21水酸化酵素欠損症（E25.0A）および先天性副腎リポイド過形成（E25.0B）が増加した。

第二に、法制化により、治療を行うことが疾患登録に必要となったが、慢性甲状腺炎（E06.3）および単純甲状腺腫（E04.0）の登録数減少との関連が考えられる。しかしながら、未提出自治体がまだある可能性は否定できず、法制化後の動向については来年度以降の継続した解析が必要である。また、年度の違いによる自治体の登録数の違いには、登録時の技術的トラブルに加えて、登録数を未だ報告していない自治体が含まれるためと考えられ、改善が必要であろう。

今回、都道府県別に経年的に登録状況の解析を加えた。この解析を行うにあたり、各自治体における小児人口（20歳未満人口）に対する割合を出すことで、登録疾患の過多が自治体によるかどうかを判定することを試みた。内分泌疾患の総数としては、それぞれの自治体の20歳未満人口における割合に大きなばらつきはなく、病気の発症率に差がないと仮定すると、小慢事業は均一に行われているものと考えられた。し

かしながら、登録患者の多い疾患で解析すると、少数ではあるが、自治体により疾病構造が異なる場合があることが分かった。この理由が、何によるのか今後の解析課題である。このような、違いが認められたことに関して、都道府県別に登録年齢や発症年齢を解析することも含め来年度の課題としたい。

上位 20 疾患における下位疾患について、経年的な解析を加えたが、内分泌疾患に占める割合が増加したものとして、仮性副甲状腺機能低下症 (E20.1) があり、減少したものとして、周期性 ACTH 症候群 (E24.9B)、原発性性腺機能低下症 (男) があった。これらが法制化の影響を真に受けているかどうかについては、未提出自治体がないことを確認しなければならず、来年度の解析を待たねばならない。

E. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

藤枝憲二：性分化異常症の診断と治療-特に先天性

副腎過形成症を中心に-第 16 回日本小児泌尿器学会
総会特別講演、平成 19 年 7 月 14 日、神戸

田島敏広、藤枝憲二：先天性甲状腺機能低下症-札幌市における原発性ならびに中枢性甲状腺機能低下症の検討-、シンポジウム 8 周産期における内分泌疾患をめぐって、第 80 回日本内分泌学会総会、平成 19 年 6 月 14-16 日、東京

上田修、鈴木滋、松尾公美浩、向井徳男、藤枝憲二：北海道におけるクレチン症マススクリーニング 20 年のまとめ、第 41 回日本小児内分泌学会学術集会、平成 19 年 11 月 7-9 日、横浜

向井徳男、伊藤善也、鈴木滋、松尾公美浩、上田修、藤枝憲二：小児慢性特定疾患治療研究事業における内分泌疾患登録データの解析、第 41 回日本小児内分泌学会学術集会、平成 19 年 11 月 7-9 日、横浜

F. 知的所有権の取得状況

特許取得、実用新案登録、その他

なし

表 1-1 都道府県別登録患者数の推移

	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年
北海道	1,334	1,233	1,599	1,587	1,618	1,567	1,317	1,450
青森県	334	325	319	315	312	53	68	192
岩手県	353	376	378	387	388	391	354	0
宮城県	857	739	883	1,217	806	861	808	859
秋田県	203	255	279	223	299	237	260	180
山形県	265	315	307	325	319	307	328	329
福島県	484	486	527	541	523	547	555	516
茨城県	542	481	554	371	286	268	74	256
栃木県	344	140	289	380	387	385	304	0
群馬県	38	248	300	332	275	72	387	385
埼玉県	293	1,404	1,429	1,371	1,331	1,219	1,404	346
千葉県	691	1,010	1,060	596	1,020	765	699	436
東京都	1,883	1,784	1,780	1,796	1,553	1,854	1,764	2,111
神奈川県	772	1,509	2,152	2,099	1,487	1,495	519	504
新潟県	382	635	644	671	659	687	595	646
富山県	367	142	401	443	375	353	348	313
石川県	119	245	190	139	204	212	230	286
福井県	190	189	180	183	187	212	238	153
山梨県	208	214	216	219	255	256	271	283
長野県	391	98	223	284	263	322	291	566
岐阜県	281	202	352	452	460	432	388	458
静岡県	1,188	643	1,212	1,193	896	1,272	633	1,488
愛知県	889	2,193	2,067	2,109	1,954	2,039	1,990	195
三重県	376	195	501	477	546	532	38	251
滋賀県	477	490	474	481	514	524	495	519
京都府	764	794	669	645	157	677	879	337
大阪府	2,366	2,658	2,589	2,605	2,630	2,862	3,039	924
兵庫県	325	1,581	748	1,633	1,662	272	1,296	1,497
奈良県	416	470	411	454	489	516	379	370
和歌山県	356	332	324	305	333	319	0	108
鳥取県	112	129	133	158	160	150	153	0
島根県	221	231	256	82	180	311	276	155
岡山県	527	571	624	676	757	767	789	834
広島県	926	1,228	1,247	1,245	1,418	1,164	1,249	1,259
山口県	370	406	364	445	477	524	423	649
徳島県	149	145	158	166	0	169	159	141
香川県	393	367	396	400	361	364	366	113
愛媛県	368	401	387	440	467	471	467	414
高知県	202	259	275	275	254	254	226	128
福岡県	855	1,201	932	1,129	1,111	1,108	990	803
佐賀県	26	232	36	227	244	265	259	218
長崎県	470	481	490	439	479	503	164	266
熊本県	533	556	612	553	560	523	300	0
大分県	294	304	339	320	312	181	198	168
宮崎県	410	397	339	379	350	366	363	383
鹿児島県	247	321	453	271	603	636	673	646
沖縄県	538	563	592	602	662	723	795	772
合計	24,129	29,178	30,690	31,640	30,583	29,987	27,801	22,907

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

表 1-2 都道府県別の登録患者数と 20 歳未満人口における割合（登録数/20 歳未満人口 x 10⁻³）の推移

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比	登録数	対人口比
北海道	1587	1.43	1618	1.50	1567	1.50	1317	1.30	1450	1.43
青森県	315	1.02	312	1.03	53	0.19	68	0.24	192	0.70
岩手県	387	1.33	388	1.36	391	1.41	354	1.30	0	0.00
宮城県	1217	2.43	806	1.66	861	1.81	808	1.74	859	1.86
秋田県	223	0.99	299	1.36	237	1.13	260	1.29	180	0.91
山形県	325	1.28	319	1.29	307	1.28	328	1.40	329	1.43
福島県	541	1.16	523	1.14	547	1.22	555	1.27	516	1.22
茨城県	371	0.59	286	0.46	268	0.45	74	0.13	256	0.44
栃木県	380	0.89	387	0.93	385	0.95	304	0.76	0	0.00
群馬県	332	0.79	275	0.67	72	0.18	387	0.99	385	0.97
埼玉県	1371	0.96	1331	0.95	1219	0.88	1404	1.03	346	0.26
千葉県	596	0.59	1020	0.88	765	0.67	699	0.62	436	0.39
東京都	1796	0.87	1553	0.75	1854	0.87	1764	0.82	2111	1.06
神奈川県	2099	1.26	1487	0.90	1495	0.90	519	0.31	504	0.31
新潟県	671	1.34	659	1.35	687	1.46	595	1.31	646	1.42
富山県	443	2.05	375	1.75	353	1.70	348	1.72	313	1.56
石川県	139	0.57	204	0.85	212	0.91	230	1.00	286	1.25
福井県	183	1.05	187	1.07	212	1.25	238	1.43	153	0.94
山梨県	219	1.16	255	1.38	256	1.43	271	1.55	283	1.62
長野県	284	0.63	263	0.58	322	0.74	291	0.68	566	1.34
岐阜県	452	1.02	460	1.05	432	1.01	388	0.93	458	1.10
静岡県	1193	1.54	896	1.17	1272	1.71	633	0.87	1488	2.05
愛知県	2109	1.42	1954	1.32	2039	1.39	1990	1.36	195	0.13
三重県	477	1.24	546	1.44	532	1.44	38	0.11	251	0.69
滋賀県	481	1.59	514	1.71	524	1.77	495	1.69	519	1.78
京都府	645	1.26	157	0.31	677	1.36	879	1.78	337	0.69
大阪府	2605	1.51	2630	1.54	2862	1.68	3039	1.79	924	0.56
兵庫県	1633	1.43	1662	1.48	272	0.25	1296	1.20	1497	1.38
奈良県	454	1.53	489	1.69	516	1.84	379	1.40	370	1.34
和歌山県	305	1.41	333	1.59	319	1.57	0	0.00	108	0.55
鳥取県	158	1.22	160	1.26	150	1.22	153	1.29	0	0.00
島根県	82	0.54	180	1.22	311	2.19	276	2.03	155	1.12
岡山県	676	1.67	757	1.93	767	1.93	789	2.06	834	2.13
広島県	1245	2.13	1418	2.47	1164	2.07	1249	2.26	1259	2.25
山口県	445	1.50	477	1.63	524	1.86	423	1.55	649	2.41
徳島県	166	1.02	0	0.00	169	1.09	159	1.05	141	0.96
香川県	400	1.97	361	1.81	364	1.86	366	1.90	113	0.60
愛媛県	440	1.48	467	1.60	471	1.67	467	1.72	414	1.51
高知県	275	1.77	254	1.66	254	1.70	226	1.55	128	0.91
福岡県	1129	1.08	1111	1.08	1108	1.10	990	1.00	803	0.82
佐賀県	227	1.15	244	1.24	265	1.39	259	1.40	218	1.21
長崎県	439	1.33	479	1.49	503	1.62	164	0.55	266	0.90
熊本県	553	1.38	560	1.42	523	1.37	300	0.80	0	0.00
大分県	320	1.29	312	1.27	181	0.76	198	0.85	168	0.74
宮崎県	379	1.47	350	1.38	366	1.50	363	1.54	383	1.65
鹿児島県	271	0.70	603	1.59	636	1.72	673	1.87	646	1.84
沖縄県	602	1.68	662	1.86	723	2.07	795	2.32	772	2.24
合計	31640	1.23	30583	1.21	29987	1.20	27801	1.13	22907	0.95

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表2 上位20疾患の患者数、男女比、年齢、新規・継続数（平成15年度～17年度）

上位20疾患の患者数、男女比、年齢、新規・継続数（平成15年度～17年度）

平成15年度											
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	11,516	7,610	3,829	1.99	10.9±3.4	2,272	75	9,091	72	38.4
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	4,227	1,831	2,355	0.78	6.8±5.2	597	62	3,533	35	14.1
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	3,167	479	2,668	0.18	14.4±3.0	768	14	2,346	39	10.6
4 E22.8	思春期早発症	2,186	346	1,819	0.19	10.2±3.2	519	12	1,627	26	7.3
5 E03.9	甲状腺機能低下症	1,943	779	1,137	0.69	8.4±5.3	380	17	1,529	17	6.5
6 E06.3	慢性甲状腺炎	1,094	90	1,000	0.09	13.8±3.0	248	2	833	11	3.6
7 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,041	12	1,021	0.01	11.7±4.3	148	5	879	7	3.5
8 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	908	437	467	0.94	8.4±5.4	82	9	813	4	3.0
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	481	267	213	1.25	8.2±5.1	93	3	375	10	1.6
10 E23.0A	下垂体機能低下(不全症)	351	184	166	1.11	11.9±5.0	81	1	268	1	1.2
11 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	337	183	149	1.23	11.0±4.9	41	6	289	1	1.1
12 E24.9B	周期性ACTH症候群	189	83	102	0.81	10.6±3.9	42	0	143	4	0.6
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	187	108	77	1.40	10.1±5.2	38	1	147	1	0.6
14 E04.0	単純甲状腺腫	184	32	150	0.21	13.4±3.6	50	0	133	1	0.6
15 E29.1	原発性性腺機能低下症(男)	159	156	2	78.0	11.3±5.3	32	0	121	6	0.5
16 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	139	78	61	1.28	11.0±4.8	28	0	111	0	0.5
17 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	135	115	19	6.05	8.5±4.9	16	2	117	0	0.5
18 D34	甲状腺腫	93	12	80	0.15	12.9±3.5	25	1	66	1	0.3
19 E16.2	特発性低血糖症	74	38	36	1.06	7.7±4.7	11	1	62	0	0.2
20 E25.9	副腎性器症候群(AGS)	74	25	47	0.53	13.2±4.4	1	0	73	0	0.2
20位までの小計		28,485	12,865	15,398	0.84	10.5±4.6	5,472	211	22,566	236	95.0
総計		29,987	13,593	16,155	0.84	10.5±4.6	5,778	216	23,741	242	100

登録疾患数:113

平成16年度											
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	10,907	7,185	3,677	1.95	10.8±3.4	2,508	58	8,288	53	39.2
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	4,148	1,830	2,279	0.80	6.8±5.0	612	59	3,449	28	14.9
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	2,897	458	2,422	0.19	14.3±3.0	727	39	2,113	18	10.4
4 E22.8	思春期早発症	1,899	264	1,625	0.16	10.1±3.1	438	8	1,446	7	6.8
5 E03.9	甲状腺機能低下症	1,754	706	1,031	0.68	8.6±5.4	354	10	1,375	15	6.3
6 E06.3	慢性甲状腺炎	1,002	89	907	0.10	13.8±3.0	226	7	762	7	3.6
7 Q96	ターナー(Turner)症候群	938	11	920	0.01	11.6±4.1	154	11	770	3	3.4
8 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	798	398	400	1.00	8.3±5.2	70	6	713	9	2.9
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	452	239	208	1.15	8.3±5.0	88	5	354	5	1.6
10 E23.0A	下垂体機能低下(不全症)	296	154	142	1.08	12.1±4.9	55	4	236	1	1.1
11 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	296	165	130	1.27	11.0±4.6	66	0	230	0	1.1
12 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	173	94	77	1.22	10.4±5.2	32	4	135	2	0.6
13 E24.9B	周期性ACTH症候群	169	81	87	0.93	10.4±4.0	34	0	134	1	0.6
14 E04.0	単純甲状腺腫	147	29	118	0.25	13.4±3.2	24	0	122	1	0.5
15 E29.1	原発性性腺機能低下症(男)	145	144	1	1.44	11.1±5.1	27	0	117	1	0.5
16 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	124	102	20	5.10	8.6±5.0	16	0	107	1	0.4
17 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	123	72	49	1.47	11.7±4.4	10	0	112	1	0.4
18 D34	甲状腺腫	103	22	80	0.28	12.9±3.5	43	0	59	1	0.4
19 E28.3	原発性性腺機能低下症(女)	77	6	70	0.09	13.3±4.2	25	0	50	2	0.3
20 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	63	23	39	0.59	8.2±4.6	7	4	52	0	0.2
20位までの小計		26,511	12,072	14,282	0.85	10.4±4.6	5,516	215	20,624	156	95.4
総計		27,801	12,742	14,892	0.86	10.4±4.6	5,763	220	21,653	165	100

登録疾患数:100

平成17年度												
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	8,957	5,785	2,978	1.94	10.7±3.3	1,342	43	7,451	105	16	39.1
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	4,746	2,084	2,534	0.82	7.4±5.3	551	77	4,024	67	27	20.7
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	2,665	421	2,161	0.19	14.6±3.2	518	19	2,023	69	36	11.6
4 E22.8	思春期早発症	820	104	700	0.15	9.7±2.5	176	10	615	17	2	3.6
5 Q96	ターナー(Turner)症候群	785	6	748	0.01	12.2±4.0	86	7	673	13	6	3.4
6 E06.3	慢性甲状腺炎	770	72	678	0.11	14.0±3.3	122	5	619	10	14	3.4
7 E22.8A	中枢性思春期早発症	579	87	478	0.18	9.6±2.7	138	10	411	14	6	2.5
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	473	220	243	0.91	9.5±5.5	34	10	419	7	3	2.1
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	318	163	149	1.09	9.4±4.8	36	3	269	4	6	1.4
10 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	270	143	119	1.20	11.5±5.0	50	5	207	4	4	1.2
11 E23.0A	下垂体機能低下(不全症)	230	118	97	1.22	12.7±5.0	37	1	183	7	2	1.0
12 E25.0B	コレステロール側鎖切断酵素欠損症 多岐	176	71	95	0.75	8.6±5.7	16	1	150	5	4	0.8
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	158	80	75	1.07	11.5±7.0	20	4	130	4	0	0.7
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	157	72	76	1	13.4±5.1	20	3	128	4	2	0.7
15 E03.9	甲状腺機能低下症	128	37	91	0.41	10.4±5.6	6	0	121	0	1	0.6
16 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	126	64	60	1.07	12.0±4.6	22	1	100	3	0	0.6
17 E24.9B	周期性ACTH症候群	112	51	60	0.85	11.4±4.1	18	1	91	2	0	0.5
18 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	109	87	17	5.12	9.0±5.0	18	1	87	3	0	0.5
19 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	89	41	48	0.85	9.8±5.5	2	0	87	0	0	0.4
20 Q89.1	副腎形成不全	85	62	18	3.44	9.1±5.5	12	1	69	1	2	0.4
20位までの小計		21,753	9,768	11,425	0.85	10.6±4.6	3,224	202	17,857	339	131	95.0
総計		22,907	10,346	11,980	0.86	10.6±4.6	3,391	212	18,806	356	142	100

登録疾患数:91

表Ⅱ-A-1 先天性甲状腺機能低下症 (E03.1A)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E03.1A 先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	300	40	323	35	310	32	247	38	353	28
青森県	36	5	38	2	11	9	6	1	56	4
岩手県	82	14	91	10	88	10	87	15	0	0
宮城県	123	34	139	25	148	22	152	27	176	25
秋田県	29	4	36	9	34	8	41	7	26	2
山形県	57	11	66	11	67	8	75	7	80	5
福島県	46	13	44	6	47	10	45	9	46	1
茨城県	31	13	11	11	10	10	16	13	70	4
栃木県	42	2	39	2	36	5	28	1	0	0
群馬県	35	1	26	0	8	6	42	1	56	3
埼玉県	143	20	132	20	127	14	153	18	88	6
千葉県	69	19	196	43	228	28	165	17	82	8
東京都	105	12	92	16	50	14	172	23	344	32
神奈川県	370	68	85	10	201	20	89	8	105	8
新潟県	159	22	177	12	183	11	176	19	226	19
富山県	47	5	50	9	47	5	52	5	54	34
石川県	15	0	41	5	30	5	34	5	69	32
福井県	13	1	18	3	31	4	26	0	47	8
山梨県	25	2	28	3	32	4	35	7	42	5
長野県	57	2	62	8	80	11	72	11	158	25
岐阜県	60	7	59	11	53	4	43	3	82	3
静岡県	143	20	93	9	175	20	68	17	294	18
愛知県	162	18	151	17	156	17	141	19	26	3
三重県	36	1	51	10	51	10	8	5	21	0
滋賀県	71	14	75	9	91	15	76	7	82	8
京都府	62	13	21	5	99	21	128	28	73	1
大阪府	328	50	401	55	349	48	386	78	157	12
兵庫県	202	23	206	31	34	32	176	22	262	25
奈良県	54	6	57	10	63	11	36	10	76	9
和歌山県	29	1	33	2	30	2	0	0	13	0
鳥取県	19	0	18	2	15	2	15	5	0	0
島根県	9	1	26	4	44	10	32	5	56	8
岡山県	66	6	73	9	71	9	70	8	115	8
広島県	86	19	181	35	104	9	212	32	184	23
山口県	48	4	35	2	52	7	31	6	105	10
徳島県	17	0	0	0	17	0	17	0	16	1
香川県	33	8	34	3	35	2	40	7	13	2
愛媛県	29	7	37	11	43	6	54	13	90	17
高知県	15	2	16	2	13	0	13	2	16	2
福岡県	225	27	220	47	227	40	225	24	287	60
佐賀県	62	4	60	4	67	9	69	9	43	3
長崎県	75	7	89	12	93	16	31	2	60	16
熊本県	93	9	104	13	100	4	55	12	0	0
大分県	78	15	81	8	49	8	66	17	69	10
宮崎県	47	6	48	10	52	11	52	3	68	14
鹿児島県	89	34	215	42	261	38	281	26	315	33
沖縄県	82	14	97	16	25	3	110	20	145	16
合計	4,004	604	4,175	619	4,137	590	4,148	612	4,746	551

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-A-2 先天性甲状腺機能低下症 (E03.1A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E03.1A 先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	300	0.277	323	0.300	310	0.297	247	0.243	353	0.349
青森県	36	0.117	38	0.126	11	0.038	6	0.022	56	0.204
岩手県	82	0.232	91	0.318	88	0.317	87	0.320	0	0.000
宮城県	123	0.246	139	0.285	148	0.311	152	0.328	176	0.381
秋田県	29	0.128	36	0.164	34	0.162	41	0.204	26	0.131
山形県	57	0.225	66	0.266	67	0.279	75	0.321	80	0.348
福島県	46	0.099	44	0.096	47	0.105	45	0.103	46	0.109
茨城県	31	0.049	11	0.018	10	0.017	16	0.028	70	0.120
栃木県	42	0.099	39	0.093	36	0.089	28	0.070	0	0.000
群馬県	35	0.084	26	0.063	8	0.020	42	0.108	56	0.142
埼玉県	143	0.101	132	0.094	127	0.092	153	0.112	88	0.065
千葉県	69	0.058	196	0.168	228	0.198	165	0.146	82	0.073
東京都	105	0.051	92	0.044	50	0.024	172	0.080	344	0.173
神奈川県	370	0.223	85	0.051	201	0.121	89	0.053	105	0.065
新潟県	159	0.317	177	0.362	183	0.388	176	0.357	226	0.495
富山県	47	0.218	50	0.234	47	0.226	52	0.257	54	0.269
石川県	15	0.062	41	0.172	30	0.128	34	0.148	69	0.301
福井県	13	0.074	18	0.103	31	0.182	26	0.157	47	0.288
山梨県	25	0.133	28	0.151	32	0.179	35	0.200	42	0.240
長野県	57	0.126	62	0.138	80	0.183	72	0.169	158	0.375
岐阜県	60	0.135	59	0.135	53	0.124	43	0.103	82	0.196
静岡県	143	0.185	93	0.122	175	0.235	68	0.094	294	0.405
愛知県	162	0.109	151	0.102	156	0.106	141	0.096	26	0.018
三重県	36	0.093	51	0.135	51	0.138	8	0.022	21	0.058
滋賀県	71	0.234	75	0.250	91	0.307	76	0.259	82	0.282
京都府	62	0.121	21	0.042	99	0.198	128	0.259	73	0.149
大阪府	328	0.190	401	0.234	349	0.205	386	0.228	157	0.095
兵庫県	202	0.177	206	0.183	34	0.031	176	0.163	262	0.242
奈良県	54	0.182	57	0.197	63	0.225	36	0.133	76	0.274
和歌山県	29	0.134	33	0.157	30	0.148	0	0.000	13	0.067
鳥取県	19	0.146	18	0.142	15	0.122	15	0.126	0	0.000
島根県	9	0.059	26	0.176	44	0.310	32	0.235	56	0.403
岡山県	66	0.163	73	0.183	71	0.182	70	0.183	115	0.302
広島県	86	0.147	181	0.315	104	0.185	212	0.362	184	0.333
山口県	48	0.162	35	0.120	52	0.184	31	0.114	105	0.390
徳島県	17	0.105	0	0.000	17	0.110	17	0.112	16	0.109
香川県	33	0.163	34	0.170	35	0.179	40	0.207	13	0.069
愛媛県	29	0.097	37	0.127	43	0.152	54	0.199	90	0.328
高知県	15	0.097	16	0.105	13	0.087	13	0.089	16	0.113
福岡県	225	0.215	220	0.214	227	0.225	225	0.228	287	0.291
佐賀県	62	0.313	60	0.306	67	0.351	69	0.342	43	0.239
長崎県	75	0.227	89	0.276	93	0.299	31	0.104	60	0.203
熊本県	93	0.233	104	0.265	100	0.261	55	0.147	0	0.000
大分県	78	0.315	81	0.331	49	0.205	66	0.283	69	0.305
宮崎県	47	0.182	48	0.190	52	0.213	52	0.220	68	0.293
鹿児島県	89	0.229	215	0.567	261	0.705	281	0.781	315	0.894
沖縄県	82	0.228	97	0.272	25	0.071	110	0.321	145	0.420
合計	4,004	0.156	4,175	0.165	4,137	0.166	4,148	0.169	4,746	0.197

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表Ⅱ-B-1 甲状腺機能低下症 (E03.9)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

E03.9 甲状腺機能低下症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	53	9	49	9	51	6	42	6	5	0
青森県	12	0	11	0	4	4	6	3	0	0
岩手県	20	6	13	3	16	1	16	3	0	0
宮城県	12	4	13	4	26	15	23	11	0	0
秋田県	16	1	17	4	10	1	13	2	3	0
山形県	11	4	12	1	9	2	16	7	0	0
福島県	18	3	12	2	12	4	14	5	0	0
茨城県	4	3	5	5	1	1	9	8	1	0
栃木県	10	1	19	4	24	9	20	5	0	0
群馬県	24	1	21	0	4	3	25	6	3	0
埼玉県	101	18	145	34	166	27	173	15	0	0
千葉県	13	9	37	7	33	9	43	5	0	0
東京都	171	21	136	25	250	47	118	10	0	0
神奈川県	38	9	29	5	66	3	32	5	7	0
新潟県	33	0	16	1	20	7	21	8	3	0
富山県	19	2	16	0	14	2	14	3	3	0
石川県	44	7	19	3	31	6	33	5	0	0
福井県	13	7	11	0	8	5	12	4	0	0
山梨県	5	0	6	3	9	2	7	0	2	0
長野県	36	12	42	10	42	8	59	19	0	0
岐阜県	15	4	22	5	27	4	19	7	0	0
静岡県	74	15	74	1	88	15	24	10	0	0
愛知県	75	18	85	15	107	23	99	18	0	0
三重県	16	4	13	1	14	3	1	1	0	0
滋賀県	31	4	33	6	38	6	38	6	25	0
京都府	87	12	12	3	79	7	108	34	0	0
大阪府	130	17	78	16	147	30	150	32	1	0
兵庫県	85	14	84	21	9	8	58	9	0	0
奈良県	34	5	40	6	38	11	44	14	1	1
和歌山県	20	3	22	3	25	5	0	0	0	0
鳥取県	8	2	8	2	8	0	8	0	0	0
島根県	11	3	19	4	43	6	36	6	0	0
岡山県	39	3	44	6	47	11	44	11	0	0
広島県	47	8	116	21	64	5	79	14	66	4
山口県	23	2	34	1	27	4	18	4	0	0
徳島県	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	18	0	15	2	13	1	16	3	0	0
愛媛県	47	22	55	14	70	18	62	3	0	0
高知県	19	5	17	1	23	3	19	1	2	1
福岡県	79	15	64	11	64	4	53	9	0	0
佐賀県	7	1	9	1	5	1	8	1	6	0
長崎県	28	4	26	3	24	3	11	2	0	0
熊本県	32	1	35	11	38	8	33	10	0	0
大分県	10	1	5	0	11	10	3	2	0	0
宮崎県	27	5	21	6	25	5	26	3	0	0
鹿児島県	20	7	42	11	51	12	48	9	0	0
沖縄県	11	5	22	14	106	23	53	15	0	0
合計	1,652	297	1,624	305	1,987	388	1,754	354	128	6

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-B-2 甲状腺機能低下症 (E03.9)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
E03.9 甲状腺機能低下症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	53	0.048	49	0.045	51	0.049	42	0.041	5	0.005
青森県	12	0.039	11	0.036	4	0.014	6	0.022	0	0.000
岩手県	20	0.069	13	0.045	16	0.058	16	0.059	0	0.000
宮城県	12	0.024	13	0.027	26	0.055	23	0.050	0	0.000
秋田県	16	0.071	17	0.077	10	0.048	13	0.065	3	0.015
山形県	11	0.043	12	0.048	9	0.038	16	0.068	0	0.000
福島県	18	0.039	12	0.026	12	0.027	14	0.032	0	0.000
茨城県	4	0.006	5	0.008	1	0.002	9	0.016	1	0.002
栃木県	10	0.024	19	0.045	24	0.059	20	0.050	0	0.000
群馬県	24	0.057	21	0.051	4	0.010	25	0.064	3	0.008
埼玉県	101	0.071	145	0.104	166	0.120	173	0.127	0	0.000
千葉県	13	0.011	37	0.032	33	0.029	43	0.038	0	0.000
東京都	171	0.083	136	0.065	250	0.118	118	0.055	0	0.000
神奈川県	38	0.023	29	0.017	66	0.040	32	0.019	7	0.004
新潟県	33	0.066	16	0.033	20	0.042	21	0.046	3	0.007
富山県	19	0.088	16	0.075	14	0.067	14	0.069	3	0.015
石川県	44	0.132	19	0.079	31	0.132	33	0.143	0	0.000
福井県	13	0.074	11	0.063	8	0.047	12	0.072	0	0.000
山梨県	5	0.027	6	0.032	9	0.050	7	0.040	2	0.011
長野県	36	0.079	42	0.093	42	0.096	59	0.139	0	0.000
岐阜県	15	0.034	22	0.050	27	0.063	19	0.046	0	0.000
静岡県	74	0.096	74	0.097	88	0.118	24	0.033	0	0.000
愛知県	75	0.050	85	0.057	107	0.073	99	0.068	0	0.000
三重県	16	0.041	13	0.034	14	0.038	1	0.003	0	0.000
滋賀県	31	0.102	33	0.110	38	0.128	38	0.130	25	0.088
京都府	87	0.170	12	0.024	79	0.158	108	0.219	0	0.000
大阪府	130	0.075	78	0.046	147	0.086	150	0.088	1	0.001
兵庫県	85	0.074	84	0.075	9	0.008	58	0.054	0	0.000
奈良県	34	0.114	40	0.138	38	0.136	44	0.163	1	0.004
和歌山県	20	0.093	22	0.105	25	0.123	0	0.000	0	0.000
鳥取県	8	0.062	8	0.063	8	0.065	8	0.067	0	0.000
島根県	11	0.072	19	0.128	43	0.302	36	0.265	0	0.000
岡山県	39	0.097	44	0.110	47	0.120	44	0.115	0	0.000
広島県	47	0.080	116	0.202	64	0.114	79	0.143	66	0.120
山口県	23	0.078	34	0.116	27	0.096	18	0.066	0	0.000
徳島県	6	0.037	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
香川県	18	0.089	15	0.075	13	0.066	16	0.083	0	0.000
愛媛県	47	0.158	55	0.188	70	0.246	62	0.228	0	0.000
高知県	19	0.122	17	0.111	23	0.154	19	0.130	2	0.014
福岡県	79	0.075	64	0.062	64	0.064	53	0.054	0	0.000
佐賀県	7	0.035	9	0.046	5	0.026	8	0.043	6	0.033
長崎県	28	0.085	26	0.081	24	0.077	11	0.037	0	0.000
熊本県	32	0.080	35	0.089	38	0.099	33	0.088	0	0.000
大分県	10	0.040	5	0.020	11	0.046	3	0.013	0	0.000
宮崎県	27	0.105	21	0.083	25	0.102	26	0.110	0	0.000
鹿児島県	20	0.052	42	0.111	51	0.138	48	0.133	0	0.000
沖縄県	11	0.031	22	0.062	106	0.302	53	0.155	0	0.000
合計	1,652	0.064	1,624	0.064	1,987	0.080	1,754	0.072	128	0.005

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表Ⅱ-C-1 慢性甲状腺炎 (E06.3)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E06.3 慢性甲状腺炎

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	103	0.093	109	0.101	103	0.093	73	0.072	79	0.076
青森県	15	0.049	19	0.063	3	0.010	6	0.022	14	0.051
岩手県	12	0.041	16	0.056	17	0.061	11	0.040	0	0.000
宮城県	24	0.048	20	0.041	23	0.048	18	0.039	23	0.050
秋田県	17	0.075	15	0.068	12	0.057	11	0.055	7	0.035
山形県	11	0.043	11	0.044	8	0.033	7	0.030	9	0.039
福島県	46	0.099	46	0.100	44	0.098	30	0.069	20	0.047
茨城県	3	0.005	4	0.006	10	0.017	3	0.005	11	0.019
栃木県	10	0.024	10	0.024	10	0.025	6	0.015	0	0.000
群馬県	10	0.024	6	0.015	5	0.012	15	0.038	24	0.061
埼玉県	31	0.022	32	0.023	26	0.019	41	0.030	6	0.004
千葉県	23	0.019	49	0.042	54	0.047	36	0.032	26	0.023
東京都	55	0.027	61	0.029	60	0.028	71	0.033	50	0.025
神奈川県	55	0.033	23	0.014	61	0.037	24	0.014	18	0.011
新潟県	19	0.038	19	0.039	16	0.034	16	0.035	15	0.033
富山県	21	0.097	18	0.084	18	0.087	19	0.094	9	0.045
石川県	6	0.025	9	0.038	10	0.043	14	0.061	13	0.057
福井県	8	0.046	10	0.057	10	0.059	8	0.048	4	0.025
山梨県	1	0.005	2	0.011	2	0.011	1	0.006	1	0.006
長野県	16	0.035	18	0.040	16	0.037	18	0.042	14	0.033
岐阜県	17	0.038	20	0.046	14	0.033	19	0.046	19	0.045
静岡県	18	0.023	12	0.016	22	0.030	16	0.022	34	0.047
愛知県	34	0.023	41	0.028	50	0.034	46	0.031	4	0.003
三重県	19	0.049	17	0.045	19	0.051	1	0.003	3	0.008
滋賀県	10	0.033	12	0.040	13	0.044	15	0.051	19	0.065
京都府	28	0.055	5	0.010	28	0.056	35	0.071	12	0.025
大阪府	110	0.064	127	0.074	143	0.084	158	0.093	48	0.029
兵庫県	58	0.051	63	0.056	18	0.016	51	0.047	50	0.046
奈良県	21	0.071	20	0.069	18	0.064	11	0.041	8	0.029
和歌山県	18	0.083	18	0.086	14	0.069	0	0.000	2	0.010
鳥取県	5	0.038	4	0.031	4	0.033	3	0.025	0	0.000
島根県	8	0.052	12	0.081	22	0.155	19	0.140	13	0.094
岡山県	8	0.020	9	0.023	12	0.031	10	0.026	21	0.055
広島県	13	0.022	37	0.064	37	0.066	39	0.071	23	0.042
山口県	5	0.017	6	0.021	7	0.025	1	0.004	10	0.037
徳島県	3	0.019	0	0.000	4	0.026	4	0.026	3	0.020
香川県	8	0.039	9	0.045	11	0.056	10	0.052	5	0.026
愛媛県	15	0.050	15	0.051	12	0.043	15	0.055	14	0.051
高知県	20	0.129	22	0.144	21	0.141	20	0.137	10	0.077
福岡県	35	0.033	36	0.035	33	0.033	34	0.034	39	0.040
佐賀県	5	0.025	5	0.026	6	0.031	5	0.027	10	0.056
長崎県	16	0.048	17	0.053	18	0.058	3	0.010	10	0.034
熊本県	21	0.053	16	0.041	13	0.034	14	0.037	0	0.000
大分県	13	0.052	12	0.049	7	0.029	9	0.039	9	0.040
宮崎県	14	0.054	13	0.051	17	0.070	11	0.047	19	0.082
鹿児島県	12	0.031	22	0.058	17	0.046	15	0.042	22	0.063
沖縄県	7	0.019	4	0.011	6	0.017	10	0.029	20	0.058
合計	1,027	0.040	1,071	0.042	1,094	0.044	1,002	0.041	770	0.032

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表 II-C-2 慢性甲状腺炎 (E06.3)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E06.3 慢性甲状腺炎

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	103	29	109	32	103	25	73	9	79	16
青森県	15	3	19	4	3	2	6	3	14	3
岩手県	12	0	16	6	17	3	11	0	0	0
宮城県	24	5	20	3	23	5	18	4	23	4
秋田県	17	4	15	1	12	1	11	2	7	0
山形県	11	1	11	4	8	1	7	3	9	1
福島県	46	17	46	10	44	11	30	4	20	1
茨城県	3	1	4	4	10	9	3	3	11	1
栃木県	10	3	10	1	10	2	6	3	0	0
群馬県	10	2	6	0	5	5	15	0	24	6
埼玉県	31	6	32	6	26	6	41	14	6	0
千葉県	23	4	49	11	54	16	36	8	26	4
東京都	55	14	61	18	60	19	71	23	50	2
神奈川県	55	13	23	5	61	9	24	5	18	1
新潟県	19	2	19	0	16	2	16	3	15	4
富山県	21	3	18	3	18	3	19	3	9	4
石川県	6	0	9	1	10	1	14	4	13	4
福井県	8	1	10	2	10	2	8	1	4	0
山梨県	1	0	2	1	2	1	1	0	1	0
長野県	16	4	18	4	16	3	18	4	14	1
岐阜県	17	1	20	7	14	3	19	5	19	1
静岡県	18	5	12	1	22	0	16	8	34	6
愛知県	34	9	41	8	50	13	46	11	4	1
三重県	19	3	17	1	19	1	1	1	3	0
滋賀県	10	1	12	3	13	2	15	2	19	2
京都府	28	8	5	1	28	5	35	8	12	1
大阪府	110	31	127	34	143	33	158	38	48	10
兵庫県	58	9	63	18	18	17	51	15	50	8
奈良県	21	4	20	4	18	1	11	1	8	0
和歌山県	18	3	18	3	14	1	0	0	2	1
鳥取県	5	1	4	1	4	0	3	0	0	0
島根県	8	2	12	4	22	4	19	2	13	1
岡山県	8	0	9	1	12	4	10	2	21	1
広島県	13	2	37	5	37	6	39	4	23	4
山口県	5	0	6	0	7	1	1	0	10	0
徳島県	3	0	0	0	4	2	4	1	3	1
香川県	8	1	9	2	11	0	10	1	5	0
愛媛県	15	6	15	3	12	2	15	2	14	2
高知県	20	5	22	5	21	3	20	5	10	1
福岡県	35	6	36	8	33	7	34	6	39	10
佐賀県	5	1	5	0	6	2	5	0	10	2
長崎県	16	2	17	0	18	4	3	0	10	4
熊本県	21	2	16	6	13	3	14	5	0	0
大分県	13	4	12	2	7	2	9	5	9	4
宮崎県	14	3	13	3	17	2	11	2	19	2
鹿児島県	12	2	22	0	17	2	15	2	22	3
沖縄県	7	2	4	0	6	2	10	4	20	5
合計	1,027	225	1,071	236	1,094	248	1,002	226	770	122

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-D-1 甲状腺機能亢進症 (E05.0)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E05.0 甲状腺機能亢進症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	188	43	191	38	191	39	165	40	210	35
青森県	54	10	59	10	11	11	20	15	58	6
岩手県	40	11	41	12	49	15	40	10	0	0
宮城県	60	20	70	19	71	23	62	10	68	19
秋田県	32	10	33	7	25	7	30	8	27	1
山形県	22	6	25	4	22	4	28	7	27	4
福島県	47	17	49	14	55	19	55	11	64	11
茨城県	21	13	5	5	23	23	17	17	63	17
栃木県	26	6	29	8	23	3	21	8	0	0
群馬県	31	3	22	0	9	9	46	10	35	7
埼玉県	160	40	131	36	135	27	154	39	49	8
千葉県	57	19	112	20	107	29	87	19	40	8
東京都	189	50	169	49	200	51	178	46	258	59
神奈川県	198	38	67	10	176	18	59	14	55	8
新潟県	54	9	49	6	58	20	51	10	59	12
富山県	32	3	23	3	20	4	22	5	31	24
石川県	9	0	33	6	35	5	42	10	41	18
福井県	18	3	18	0	22	5	26	6	26	6
山梨県	13	4	16	6	15	2	16	3	15	0
長野県	48	13	45	6	45	8	40	6	47	6
岐阜県	41	9	33	10	34	7	37	17	51	7
静岡県	76	16	52	5	76	15	41	17	107	16
愛知県	136	15	129	22	134	27	127	31	13	3
三重県	35	5	41	10	44	10	3	3	20	0
滋賀県	43	10	49	14	48	9	50	13	55	6
京都府	106	19	32	11	87	14	120	31	47	1
大阪府	285	75	280	71	311	60	323	86	131	23
兵庫県	216	57	227	59	46	44	154	33	187	37
奈良県	45	9	45	17	43	10	32	14	29	1
和歌山県	48	10	46	11	40	9	0	0	16	2
鳥取県	14	4	19	6	19	1	19	6	0	0
島根県	5	1	18	4	31	6	27	4	24	0
岡山県	44	4	52	18	50	18	59	20	77	11
広島県	53	8	88	14	93	12	100	16	88	10
山口県	45	2	51	11	55	8	30	11	49	9
徳島県	37	6	0	0	38	8	31	4	34	6
香川県	36	5	40	12	41	12	39	8	15	1
愛媛県	62	23	51	6	55	14	50	11	50	10
高知県	31	10	38	16	29	2	31	9	24	7
福岡県	155	29	126	29	137	26	110	18	112	29
佐賀県	44	10	61	10	66	11	62	4	61	12
長崎県	59	16	60	13	68	17	12	3	41	14
熊本県	80	16	82	26	76	19	40	18	0	0
大分県	49	18	45	13	40	24	27	15	29	13
宮崎県	80	27	73	21	75	21	65	11	80	19
鹿児島県	34	14	88	14	95	24	102	20	95	15
沖縄県	39	8	38	6	44	18	47	10	53	17
合計	3,197	744	3,051	708	3,167	768	2,897	727	2,661	518

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-D-2 甲状腺機能亢進症 (E05.0)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E05.0 甲状腺機能亢進症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	188	0.170	191	0.177	191	0.183	165	0.163	210	0.208
青森県	54	0.175	59	0.195	11	0.038	20	0.072	58	0.211
岩手県	40	0.137	41	0.143	49	0.176	40	0.147	0	0.000
宮城県	60	0.120	70	0.144	71	0.149	62	0.134	68	0.147
秋田県	32	0.142	33	0.150	25	0.119	30	0.149	27	0.136
山形県	22	0.087	25	0.101	22	0.092	28	0.120	27	0.117
福島県	47	0.101	49	0.107	55	0.123	55	0.126	64	0.151
茨城県	21	0.033	5	0.006	23	0.038	17	0.029	63	0.108
栃木県	26	0.061	29	0.069	23	0.057	21	0.053	0	0.000
群馬県	31	0.074	22	0.054	9	0.022	46	0.118	35	0.089
埼玉県	160	0.113	131	0.094	135	0.097	154	0.113	49	0.036
千葉県	57	0.048	112	0.096	107	0.093	87	0.077	40	0.036
東京都	189	0.092	169	0.081	200	0.094	178	0.082	258	0.130
神奈川県	198	0.119	67	0.040	176	0.106	59	0.035	55	0.034
新潟県	54	0.108	49	0.100	58	0.123	51	0.112	59	0.129
富山県	32	0.148	23	0.107	20	0.096	22	0.109	31	0.154
石川県	9	0.037	33	0.138	35	0.150	42	0.183	41	0.179
福井県	18	0.103	18	0.103	22	0.129	26	0.157	26	0.160
山梨県	13	0.069	16	0.086	15	0.084	16	0.091	15	0.086
長野県	48	0.106	45	0.100	45	0.103	40	0.094	47	0.112
岐阜県	41	0.092	33	0.075	34	0.079	37	0.089	51	0.122
静岡県	76	0.098	52	0.068	76	0.102	41	0.056	107	0.147
愛知県	136	0.091	129	0.087	134	0.091	127	0.087	13	0.009
三重県	35	0.091	41	0.108	44	0.119	3	0.006	20	0.055
滋賀県	43	0.142	49	0.163	48	0.162	50	0.171	55	0.189
京都府	106	0.207	32	0.063	87	0.174	120	0.243	47	0.096
大阪府	285	0.165	280	0.163	311	0.183	323	0.191	131	0.079
兵庫県	216	0.189	227	0.202	46	0.042	154	0.142	187	0.173
奈良県	45	0.152	45	0.155	43	0.154	32	0.119	29	0.105
和歌山県	48	0.222	46	0.219	40	0.197	0	0.000	16	0.082
鳥取県	14	0.108	19	0.150	19	0.154	19	0.160	0	0.000
島根県	5	0.033	18	0.122	31	0.218	27	0.199	24	0.173
岡山県	44	0.109	52	0.130	50	0.128	59	0.154	77	0.202
広島県	53	0.091	88	0.153	93	0.165	100	0.181	88	0.159
山口県	45	0.152	51	0.175	55	0.195	30	0.110	49	0.182
徳島県	37	0.228	0	0.000	38	0.245	31	0.204	34	0.231
香川県	36	0.177	40	0.200	41	0.209	39	0.202	15	0.079
愛媛県	62	0.208	51	0.175	55	0.195	50	0.184	50	0.182
高知県	31	0.200	38	0.246	29	0.195	31	0.212	24	0.170
福岡県	155	0.148	126	0.123	137	0.136	110	0.111	112	0.114
佐賀県	44	0.222	61	0.311	66	0.346	62	0.336	61	0.339
長崎県	59	0.179	60	0.186	68	0.219	12	0.040	41	0.139
熊本県	80	0.200	82	0.209	76	0.198	40	0.107	0	0.000
大分県	49	0.198	45	0.184	40	0.167	27	0.116	29	0.128
宮崎県	80	0.310	73	0.288	75	0.307	65	0.275	80	0.346
鹿児島県	34	0.088	88	0.232	95	0.257	102	0.283	95	0.270
沖縄県	39	0.109	38	0.107	44	0.126	47	0.137	53	0.154
合計	3,197	0.125	3,051	0.121	3,167	0.127	2,897	0.118	2,661	0.110

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表Ⅱ-E-1 先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

E25.0 先天性副腎(皮質)過形成

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	31	4	30	4	34	5	26	3	5	0
青森県	7	2	7	0	0	0	1	1	0	0
岩手県	13	1	12	3	9	1	8	0	0	0
宮城県	17	0	16	2	17	0	16	1	0	0
秋田県	6	0	6	0	5	0	8	2	4	0
山形県	7	0	6	0	8	1	10	3	0	0
福島県	23	4	25	4	21	1	16	1	0	0
茨城県	11	3	3	3	1	1	5	3	0	0
栃木県	9	1	7	0	7	0	6	2	0	0
群馬県	13	1	10	0	2	2	15	2	1	0
埼玉県	64	4	55	2	56	5	60	5	0	0
千葉県	14	1	44	1	47	1	31	2	0	0
東京都	71	6	59	4	59	3	56	2	0	0
神奈川県	96	23	23	3	45	3	15	0	13	0
新潟県	25	2	24	4	26	3	20	0	1	0
富山県	13	0	14	1	13	0	13	1	6	0
石川県	10	0	11	0	12	0	12	0	0	0
福井県	4	1	5	1	7	2	6	0	0	0
山梨県	9	1	8	0	8	1	8	1	8	0
長野県	10	1	6	0	7	1	10	3	0	0
岐阜県	17	1	16	1	17	0	11	1	0	0
静岡県	36	3	24	1	42	6	20	2	0	0
愛知県	32	7	37	7	42	6	34	4	0	0
三重県	9	0	11	3	11	3	0	0	0	0
滋賀県	19	0	16	1	16	3	13	0	12	0
京都府	22	5	6	1	27	4	28	6	0	0
大阪府	69	7	80	11	76	5	80	7	0	0
兵庫県	40	2	40	3	0	0	35	2	0	0
奈良県	14	1	13	3	17	3	5	0	1	0
和歌山県	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0
鳥取県	8	0	6	0	6	1	7	0	0	0
島根県	5	3	11	2	14	0	13	1	0	0
岡山県	11	0	15	1	13	2	13	1	3	0
広島県	16	1	35	1	30	2	29	1	23	1
山口県	15	1	14	1	12	0	11	2	0	0
徳島県	10	0	0	0	11	0	11	0	10	0
香川県	8	1	8	0	8	1	7	0	0	0
愛媛県	22	2	21	1	18	1	17	0	0	0
高知県	14	1	14	1	13	0	9	1	1	1
福岡県	62	2	57	7	62	6	49	1	0	0
佐賀県	5	1	5	0	5	1	3	0	1	0
長崎県	14	1	14	0	18	0	4	0	0	0
熊本県	19	1	20	1	16	1	8	1	0	0
大分県	17	0	17	0	6	2	8	3	0	0
宮崎県	15	3	12	0	14	0	13	0	0	0
鹿児島県	3	0	19	4	18	4	17	3	0	0
沖縄県	9	0	10	1	10	1	11	2	0	0
合計	966	99	894	83	908	82	798	70	89	2

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-E-2 先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合（総数/20歳未満人口×10⁻³）の推移
E25.0 先天性副腎（皮質）過形成

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	31	0.028	30	0.028	34	0.033	26	0.026	5	0.005
青森県	7	0.023	7	0.023	0	0.000	1	0.004	0	0.000
岩手県	13	0.045	12	0.042	9	0.032	8	0.029	0	0.000
宮城県	17	0.034	16	0.033	17	0.036	16	0.034	0	0.000
秋田県	6	0.027	6	0.027	5	0.024	8	0.040	4	0.020
山形県	7	0.028	6	0.024	8	0.033	10	0.043	0	0.000
福島県	23	0.049	25	0.055	21	0.047	16	0.037	0	0.000
茨城県	11	0.017	3	0.005	1	0.002	5	0.009	0	0.000
栃木県	9	0.021	7	0.017	7	0.017	6	0.015	0	0.000
群馬県	13	0.031	10	0.024	2	0.005	15	0.038	1	0.003
埼玉県	64	0.045	55	0.039	56	0.040	60	0.044	0	0.000
千葉県	14	0.012	44	0.038	47	0.041	31	0.027	0	0.000
東京都	71	0.034	59	0.028	59	0.028	56	0.026	0	0.000
神奈川県	96	0.058	23	0.014	45	0.027	15	0.009	13	0.008
新潟県	25	0.050	24	0.049	26	0.055	20	0.044	1	0.002
富山県	13	0.060	14	0.057	13	0.063	13	0.064	6	0.030
石川県	10	0.041	11	0.046	12	0.051	12	0.052	0	0.000
福井県	4	0.023	5	0.029	7	0.041	6	0.036	0	0.000
山梨県	9	0.048	8	0.043	8	0.045	8	0.046	8	0.046
長野県	10	0.022	6	0.013	7	0.016	10	0.024	0	0.000
岐阜県	17	0.038	16	0.037	17	0.040	11	0.026	0	0.000
静岡県	36	0.047	24	0.031	42	0.056	20	0.028	0	0.000
愛知県	32	0.022	37	0.025	42	0.029	34	0.023	0	0.000
三重県	9	0.023	11	0.029	11	0.030	0	0.000	0	0.000
滋賀県	19	0.063	16	0.053	16	0.054	13	0.044	12	0.041
京都府	22	0.043	6	0.012	27	0.054	28	0.057	0	0.000
大阪府	69	0.040	80	0.047	76	0.045	80	0.047	0	0.000
兵庫県	40	0.035	40	0.036	0	0.000	35	0.032	0	0.000
奈良県	14	0.047	13	0.045	17	0.061	5	0.019	1	0.004
和歌山県	2	0.009	2	0.010	2	0.010	0	0.000	0	0.000
鳥取県	8	0.062	6	0.047	6	0.049	7	0.059	0	0.000
島根県	5	0.033	11	0.074	14	0.099	13	0.090	0	0.000
岡山県	11	0.027	15	0.038	13	0.033	13	0.034	3	0.008
広島県	16	0.027	35	0.061	30	0.053	29	0.053	23	0.042
山口県	15	0.051	14	0.048	12	0.043	11	0.040	0	0.000
徳島県	10	0.062	0	0.000	11	0.071	11	0.072	10	0.068
香川県	8	0.039	8	0.040	8	0.041	7	0.036	0	0.000
愛媛県	22	0.074	21	0.072	18	0.064	17	0.063	0	0.000
高知県	14	0.080	14	0.092	13	0.087	9	0.062	1	0.007
福岡県	62	0.059	57	0.056	62	0.062	49	0.050	0	0.000
佐賀県	5	0.025	5	0.026	5	0.026	3	0.016	1	0.006
長崎県	14	0.042	14	0.043	18	0.058	4	0.013	0	0.000
熊本県	19	0.048	20	0.051	16	0.042	8	0.021	0	0.000
大分県	17	0.060	17	0.061	6	0.025	8	0.034	0	0.000
宮崎県	15	0.058	12	0.047	14	0.057	13	0.055	0	0.000
鹿児島県	3	0.008	19	0.050	18	0.049	17	0.047	0	0.000
沖縄県	9	0.025	10	0.028	10	0.029	11	0.032	0	0.000
合計	966	0.038	894	0.035	908	0.036	798	0.033	89	0.004

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表Ⅱ-F-1 21水酸化酵素欠損症 (E25.0A)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E25.0A 21水酸化酵素欠損症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	10	1	11	0	12	1	13	0	26	2
青森県	2	1	2	0	0	0	2	0	11	1
岩手県	1	0	1	0	2	0	2	1	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1
埼玉県	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0
千葉県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
東京都	0	0	0	0	1	0	1	1	73	1
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
新潟県	0	0	1	0	2	0	1	0	14	1
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	1	0	1	0	1	0	1	0	5	4
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	1	0	1	0	1	0	2	0	3	0
長野県	3	0	3	1	4	0	3	0	6	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2
静岡県	0	0	0	0	1	1	0	0	31	3
愛知県	12	4	9	0	10	0	9	0	0	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	3	0	1	0	1	0	0	0	5	1
京都府	1	0	1	0	0	0	2	1	4	1
大阪府	6	0	5	0	4	0	3	0	30	0
兵庫県	1	0	2	0	0	0	1	0	42	4
奈良県	3	0	4	0	3	0	1	0	1	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
島根県	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
岡山県	1	0	0	0	1	0	0	0	9	0
広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2
山口県	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0
徳島県	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
香川県	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0
愛媛県	1	0	1	0	0	0	0	0	9	0
高知県	1	0	1	0	1	0	1	0	10	0
福岡県	1	0	2	1	3	1	2	0	26	6
佐賀県	0	0	1	0	1	0	2	1	2	0
長崎県	0	0	1	0	1	0	0	0	5	0
熊本県	4	1	6	0	5	0	3	1	0	0
大分県	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0
宮崎県	1	0	1	1	0	0	0	0	9	1
鹿児島県	1	0	4	1	9	0	13	2	33	3
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
合計	60	7	63	4	69	3	63	7	473	34

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

表Ⅱ-F-2 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E25.0A 21水酸化酵素欠損症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	10	0.009	11	0.010	12	0.011	13	0.013	26	0.026
青森県	2	0.006	2	0.007	0	0.000	2	0.007	11	0.040
岩手県	1	0.003	1	0.003	2	0.007	2	0.007	0	0.000
宮城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.030
秋田県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山形県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	10	0.043
福島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	5	0.012
茨城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.005
栃木県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
群馬県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.035
埼玉県	0	0.000	0	0.000	1	0.001	0	0.000	3	0.002
千葉県	0	0.000	1	0.001	0	0.000	0	0.000	0	0.000
東京都	0	0.000	0	0.000	1	0.000	1	0.000	73	0.037
神奈川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	5	0.003
新潟県	0	0.000	1	0.002	2	0.004	1	0.002	14	0.031
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
石川県	1	0.004	1	0.004	1	0.004	1	0.004	5	0.022
福井県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山梨県	1	0.005	1	0.005	1	0.006	2	0.011	3	0.017
長野県	3	0.007	3	0.007	4	0.009	3	0.007	6	0.014
岐阜県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	19	0.045
静岡県	0	0.000	0	0.000	1	0.001	0	0.000	31	0.043
愛知県	12	0.008	9	0.006	10	0.007	9	0.006	0	0.000
三重県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	3	0.010	1	0.003	1	0.003	0	0.000	5	0.017
京都府	1	0.002	1	0.002	0	0.000	2	0.004	4	0.008
大阪府	6	0.003	5	0.003	4	0.002	3	0.002	30	0.018
兵庫県	1	0.001	2	0.002	0	0.000	1	0.001	42	0.039
奈良県	3	0.010	4	0.014	3	0.011	1	0.004	1	0.004
和歌山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	2	0.015	2	0.016	2	0.016	0	0.000	0	0.000
島根県	1	0.007	1	0.007	1	0.007	1	0.007	1	0.007
岡山県	1	0.002	0	0.000	1	0.003	0	0.000	9	0.024
広島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.025
山口県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.026
徳島県	1	0.006	0	0.000	1	0.006	0	0.000	1	0.007
香川県	0	0.000	0	0.000	1	0.005	0	0.000	5	0.026
愛媛県	1	0.003	1	0.003	0	0.000	0	0.000	9	0.033
高知県	1	0.006	1	0.007	1	0.007	1	0.007	10	0.027
福岡県	1	0.001	2	0.002	3	0.003	2	0.002	26	0.026
佐賀県	0	0.000	1	0.005	1	0.005	2	0.011	2	0.011
長崎県	0	0.000	1	0.003	1	0.003	0	0.000	5	0.017
熊本県	4	0.010	6	0.016	5	0.014	3	0.008	0	0.000
大分県	1	0.004	0	0.000	0	0.000	0	0.000	8	0.035
宮崎県	1	0.004	1	0.004	0	0.000	0	0.000	9	0.039
鹿児島県	1	0.003	4	0.011	9	0.024	13	0.036	33	0.094
沖縄県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	10	0.029
合計	60	0.002	63	0.002	69	0.003	63	0.003	473	0.020

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

表Ⅱ-G-1 コレステロール側鎖切断酵素欠損症 (E25.0B)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

E25.0B コレステロール側鎖切断酵素欠損症

	H13年		H14年		H15年		H16年		H17年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	1	0	2	0	0	0	2	0	7	1
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
福島県	1	0	1	0	1	0	3	2	6	2
茨城県	0	0	0	0	1	1	0	0	14	1
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0
埼玉県	1	0	1	0	1	0	2	0	15	1
千葉県	2	0	0	0	1	0	0	0	7	0
東京都	1	0	0	0	4	2	3	0	2	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1
富山県	1	0	0	0	0	0	0	0	7	5
石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
静岡県	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
愛知県	1	0	2	0	1	0	1	0	5	0
三重県	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
京都府	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
大阪府	1	0	3	0	0	0	3	3	4	0
兵庫県	2	0	2	1	0	0	2	0	8	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
和歌山県	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0
広島県	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0
山口県	0	0	1	0	0	0	1	0	19	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
香川県	2	0	1	0	1	0	2	1	0	0
愛媛県	1	0	1	0	1	0	1	0	6	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大分県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	20	0	19	3	17	4	25	7	176	16

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。